

平成 2 6 年度

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

第 4 回 ハーバード特別講義

Harvard Special Session 2015

授 業 計 画
(Course Syllabus)



Teikyo-Harvard Program 主催

授業計画（シラバス）

担当教員：David C. Christiani 客員教授

授業科目の名称	産業保健学入門		
単位数	1 単位	授業の方法	集中講義
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職場の特定の有害物質への曝露で発生した疾患の診断と医療について述べるができる。また、石綿、鉛、発がん物質、反復動作等によく見られる有害要因について説明できる。 ● 化学物質や有害要因の器官系への初期の影響についての調査やスクリーニングの方法について、説明できる。 ● 損傷や障害の程度評価の方法について説明できる。 ● 職業保健の政治的側面について、概略を考える。 			
<p>授業の概要</p> <p>通常の米国の大学院の授業がそうであるように、予習を重視し、教室では単なる知識付与というより、事例を基にした討論を行う。できれば産業現場での自験例を持ちよってほしい。</p>			
<p>授業計画（各コマ 90 分）</p> <p>【第 1 日目】（1 月 8 日（木）9:00-10:30; 11:00-12:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義概要（テキスト: Chapters 1, 2, 3） 2. 産業環境保健の歴史（テキスト: Chapter 28） 3. スクリーニングと調査の基本 <p>事例研究 #1</p> <p>【第 2 日目】（1 月 9 日（金）9:00-10:30; 11:00-12:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発がん（テキスト: Chapter 17） 2. 慢性損傷（テキスト: Chapters 16, 27） <p>事例研究 #2</p> <p>【第 3 日目】（1 月 10 日（土）9:00-10:30; 11:00-12:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. じん肺 (1)（テキスト: Chapters 18, 26） 2. じん肺 (2): ILO 方式、呼吸機能検査の実際 <p>事例研究 #3</p> <p>【第 4 日目】（1 月 11 日（日）9:00-10:30; 11:00-12:30）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他の職業性呼吸器疾患（テキスト: Chapters 7, 18） 			

2. 重金属、有機溶剤、化学物質損傷の緊急処置 (テキスト: Chapters 11, 19, 25, 37)

事例研究 #4

※英語力や準備知識の不足で援助が必要な学生に対しては、日本人スタッフによる補講を各講義の後に予定している。

テキスト

Occupational and Environmental Health: Recognizing and Preventing Disease and Injury; Sixth edition. Barry S. Levy, David H. Wegman, Sherry L. Baron, and Rosemary K. Sokas.

参考書

各講義の Text Chapter に対応する内容の日本語の教科書を読んでおくことは有用かもしれない。

学生に対する評価

8回の講義終了後に試験を行うが、講義への参加も評価に加える。

授業計画（シラバス）

担当教員：Ichiro Kawachi 客員教授

授業科目の名称	健康行動科学 / 社会疫学		
単位数	1 単位	授業の方法	集中講義
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会階級、性別、貧困、収入格差、ソーシャルネットワーク/サポート、コミュニティーの結束、心理社会的な仕事環境、近隣関係など社会的要因が人々の健康に及ぼす影響について理解できるようになる。 ・ 上記の考え方をを用いながらハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを説明し、コミュニティーレベルの健康決定要因、ソーシャルキャピタル、職場ストレスモデルなどに基づいた人々の健康問題への介入方法を提言できるようになる。 			
<p>授業の概要</p> <p>人々の健康状態を評価しその理論モデルを構造化するための基本知識を網羅する講義を行う。疫学研究を実証的に進めるために必要な概念や手法を学ぶ。</p>			
<p>授業計画（各コマ 90 分）</p> <p>【第1回】健康の社会決定要因の概説（1月13日(火)9:00-10:30）</p> <p>【第2回】予防のパラドックスと予防の戦略（1月13日(火)10:45-12:15）</p> <p>【第3回】社会経済状態、測定と原因とみなせるエビデンス（1月14日(水)9:00-10:30）</p> <p>【第4回】収入格差と健康（1月14日(水)10:45-12:15）</p> <p>【第5回】ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポートと健康（1月15日(木)9:00-10:30）</p> <p>【第6回】ソーシャルキャピタル、社会の結束と健康（1月15日(木)10:45-12:15）</p> <p>【第7回】心理社会的な仕事環境と健康（1月16日(金)9:00-10:30）</p> <p>【第8回】健康格差の是正：政策の観点から（1月16日(金)10:45-12:15）</p> <p>※英語力や準備知識の不足で援助が必要な学生に対しては、日本人スタッフによる補講を各講義の後に予定している。</p>			
<p>テキスト</p> <p>Berkman LF & Kawachi I (eds). Social Epidemiology. New York: Oxford University Press, 2000.</p>			
<p>参考書</p> <p>講義で紹介。カワチ イチロー. 命の格差は止められるか: ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業, 小学館 101 新書, 2013 年</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>4つのショートエッセイ形式の問題を含めた2時間の筆記試験を行う。(1月16日(金)午後)</p>			

授業計画（シラバス）

担当教員： Marcello Pagano 客員教授

授業科目の名称	生物統計学： モニタリングと評価		
単位数	1 単位	授業の方法	集中講義
<p>授業の到達目標</p> <p>この講義では、モニタリングと評価（M&E）のために使われる一般的で革新的な量的方法を理解する。（統計学の入門コースを受けた学生を対象とする。）</p>			
<p>授業の概要</p> <p>講義の終了までに、下記の内容を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直面する課題に対して適切なモニタリング評価システムをデザインできる。 2. データの限界を踏まえ適切に解釈することを含め、適切なデータを同定できる。 3. プログラムのモニタリング評価で使われる基本的・一般的な統計学的手法を用いることができる。 4. 包括的な M&E システムのための複数の方法を統合できる。 5. モニタリング評価システムについて、基本要素から複雑な手法への拡張を説明できる。 			
<p>授業計画（各コマ 90 分）</p> <ol style="list-style-type: none"> <p>1. モニタリングと評価（M&E）の紹介（1月13日(火) 13:15-14:45)</p> <p>最初の講義では、モニタリングと評価の基本的な概念を紹介し、進行中の健康プログラムを例にとり、プログラム実施と方針において M&E システムの演じる役割を示す。</p> <p>2. 評価の枠組みと指標（1月13日(火) 15:15-16:45)</p> <p>本講義では、論理モデルによる M&E をプログラムするための枠組みの開発、モニタリングを必要とする主要な活動と結果、そして指標の開発に関して概観する。指標は M&E システムにおいての中心的な測定基準になり、そして何が測定されるかの厳密な定義を意味する。この講義では適切な指標をどのように開発し評価するかを議論し、さらに M&E で一般的に用いられる異なるタイプの指標についても議論する。</p> <p>3. 集団の測定（1月14日(水) 13:15-14:45)</p> <p>理想的には、センサスや登録は、興味ある集団の完全な情報を供与する。本講義では、集団を適切にモニターするためのセンサスと人口動態統計の登録の価値を中心に扱う。</p> <p>4. 統計モデルのレビュー（1月14日(水) 15:15-16:45)</p> <p>この講義は、基本的な統計的概念、例えば二項モデルや正規分布、関連する推測をレビューする。後の講義で議論される方法論の基盤をなす頻度論的推測とベイズ流推測について述べる。</p> <p>5. 調査法 1（1月15日(木) 13:15-14:45） & 6. 調査法 2（1月15日(木) 15:15-16:45)</p> <p>M&E システムでは、一般的に調査によりデータを収集する。調査設計は、結果の精度と解釈に影響を与え、また、同様に調査の実施とも関わりを持つ。これらの講義では、調査で最も基本的なサンプル</p> 			

リング・デザイン- 単純な無作為抽出、層化サンプリングとクラスターサンプリング - と、各々の意味について議論する。より複雑な研究デザイン（例えば多段階およびEPI調査）も議論する。

7. M&Eにおける共通するエラー源を修正する方法 (1月16日(金) 13:15-14:45)

本コースで取り扱う方法による推測の多くは、欠測値や低品質データによるバイアスに対しては弱点がある。この講義ではM&Eシステムにおける最も共通するエラー源に焦点をあて、これらのエラーを改善または調整するための方法を議論する。

8. ヘルスシステムにおける品質管理 (1月16日(金) 15:15-16:45)

ロット品質保証サンプリング (Lot Quality Assurance Sampling, LQAS) はパフォーマンスに基づいて健康管轄区域を分類するために一般的に用いられるツールである。それは、プログラム・マネージャーが最も効果的なリソースのローカル使用を決定することを支援してくれる。本講義では、LQASの基本的メカニズムを解説し、さらにヘルスサービスがモニターされ評価できるような通常の統計を得ることを目的として、層化サンプリングやクラスターサンプリングによる担当区域で収集されたデータをまとめるための道具を解説する。

※英語力や準備知識の不足で援助が必要な学生に対しては、日本人教員による補講を各講義の後に行う。

テキスト

事前にテキストや講義用資料を専用HP上にて公布する。

参考資料

生物統計学入門：ハーバード大学講義テキスト (Marcello Pagano, Kimberlee Gauvreau 著；竹内正弘監訳・丸善)

学生に対する評価

コース終了後に筆記試験を行う。

授業計画（シラバス）

担当教員：Martin Burton & Andrew Farmery 客員教授

授業科目の名称	医療政策管理学 / 臨床疫学		
単位数	2 単位	授業の方法	集中講義
授業の到達目標			
<ul style="list-style-type: none">・ 批判的評価とデータ分析の技術を身につける・ システマチックレビューの正式な過程を使ってエビデンス合成の性質と技術を理解する・ 治療と診断に関する論文評価に必要な基礎的統計概念を復習する・ ガイドラインの理論と作成を理解する・ 臨床ガイドラインを評価する・ 医療政策策定と資源配分の原理を理解する・ 英国医療制度を理解する・ 研究の価値の必要性を認識する			
授業の概要			
本講義では臨床研究のメタ解析から臨床ガイドライン作成の過程を学ぶ。			
授業計画（各コマ 90 分）			
【第 1 回】 オックスフォード式教育法・システマチックレビューとコクラン共同計画（1 月 22 日（木）9:00-10:30）			
【第 2 回】 批判的評価の理論（治療）・治療に関する論文の批判的評価（I）（1 月 22 日（木）10:45-12:15）			
【第 3 回】 批判的評価の技術・治療に関する論文の批判的評価（II）（1 月 22 日（木）13:15-14:45）			
【第 4 回】 ガイドライン・有効性の問題（1 月 22 日（木）15:00-16:30）			
【第 5 回】 システマチックレビュー技術・臨床的問題の定義とプロトコール化（1 月 23 日（金）9:00-10:30）			
【第 6 回】 批判的評価の理論（診断）・診断に関する論文の批判的評価（I）（1 月 23 日（金）10:45-12:15）			
【第 7 回】 批判的評価の技術・診断に関する論文の批判的評価（II）（1 月 23 日（金）13:15-14:45）			
【第 8 回】 ガイドライン・臨床研究の高価値化（1 月 23 日（金）15:00-16:30）			
【第 9 回】 有効性の問題・診断検査の正確性に関する論文の批判的評価（1 月 24 日（土）9:00-10:30）			
【第 10 回】 文献検索法・論文選定法（1 月 24 日（土）10:45-12:15）			
【第 11 回】 批判的評価技術・システマチックレビューの評価（1 月 24 日（土）13:15-14:45）			
【第 12 回】 ガイドラインの臨床導入・ガイドラインの批判的評価（1 月 24 日（土）15:00-16:30）			
【第 13 回】 臨床医療のバリエーションと「共同意思決定」・バイアスの危険（1 月 25 日（日）9:00-10:30）			
【第 14 回】 コクランバイアス危険ツール・システマチックレビューの評価（1 月 25 日（日）10:45-12:15）			
【第 15 回】 メタ解析・医療政策と資源（1 月 25 日（日）13:15-14:45）			

【第16回】英国医療制度・評価 (1月25日(日)15:00-16:30)

※英語力や準備知識の不足で援助が必要な学生に対しては、日本人スタッフによる補講を各講義の後に予定している。

教科書

Trisha Greenhalgh: How to Read a Paper: The Basics of Evidence-Based Medicine

Bjom Andersen: Methodological Errors in Medical Research - an incomplete catalogue

参考書

講義で紹介。

学生に対する評価

授業への参加

小テスト

最終日の提出物

Course Syllabus

Adjunct Professor: David C. Christiani

Course	Introduction to Occupational Medicine		
Credit	1	Method of Teaching	Lecture
<p>Objective</p> <p>At the end of the course, the student will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - describe the diagnosis and management of illnesses following exposure to specific workplace substances, and common hazards (e.g. asbestos, lead, carcinogens, and repetitive motion). - describe methods of surveillance and screening for early organ system effects of chemicals/hazards - describe techniques for assessing impairment and disability - become familiar with policy aspects of occupational health. 			
<p>Outline</p> <p>Discussion in the classroom based on the required readings is emphasized. Sharing students' own experiences at the workplace is highly encouraged.</p>			
<p>Class Schedule (90 minutes each)</p> <p><u>Session 1 (Thursday, January 8, 9:00-10:30; 11:00-12:30)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction (Readings: Chapters 1, 2, 3) 2. The Occupational & Environmental History (Readings: Chapter 28) 3. Principles of Screening and Surveillance <p><i>Case Study #1</i></p> <p><u>Session 2 (Friday, January 9, 9:00-10:30; 11:00-12:30)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cancer (Readings: Chapter 17) 2. Cumulative Trauma (Readings: Chapters 16, 27) <p><i>Case Study #2</i></p> <p><u>Session 3 (Saturday, January 10, 9:00-10:30; 11:00-12:30)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Pneumoconiosis (Part I) (Readings: Chapters 18, 26) 2. Pneumoconiosis (Part II): ILO System; lung function testing in practice <p><i>Case Study #3</i></p>			

Session 4 (Sunday, January 11, 9:00-10:30; 11:00-12:30)

1. Other Occupational Lung Diseases (Readings: Chapters 7, 18)
2. Metals, Solvents and Chemical Emergencies (Readings: Chapters 11, 19, 25, 37)

Case Study #4

We may have additional seminars by Japanese teachers to assist students for better understanding in the aspect of language and background information.

Text

Occupational and Environmental Health: Recognizing and Preventing Disease and Injury; Sixth edition. Barry S. Levy, David H. Wegman, Sherry L. Baron, and Rosemary K. Sokas.

Related readings

Will be available prior to the lecture. Textbook in own language may help understanding.

Achievement evaluation

There will be a written final exam upon completion of the course. Participation in the class discussion will be expected and valued.

Course Syllabus

Adjunct Professor: Ichiro Kawachi

Course	Behavioral Science / Social Epidemiology		
Credit	1	Method of Teaching	Lecture
<p>Objective</p> <p>The purpose of this course is to introduce students to the major social variables -- social class, gender, poverty, income distribution, social networks/support, community cohesion, the psychosocial work environment and neighborhood contexts -- that affect population health.</p> <p>By the end of the course, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Describe the two strategies of prevention (the high risk and population strategies) and formulate interventions to address population health problems using these concepts and principles. • Critique the validity and reliability of methods used to measure the dimensions of socio-economic status (SES), i.e. income, education, and occupation. • Describe the theories (mechanisms and pathways) through which income, education, and occupation affect health, health behavior, and illness, and analyze their applicability to different types of health problems. • Describe and contrast the absolute versus relative approaches to conceptualizing and measuring poverty. • Identify community-level determinants of health, such as neighborhood assets (e.g. social capital) and deficits (e.g. concentrated disadvantage). • Compare and contrast compositional versus contextual influences of neighborhood environments on health. • Discuss the mechanisms and pathways by which neighborhood contexts influence population health. • Define and describe measurement approaches to assess social networks, social support, and social capital. • Describe the mechanisms through which social networks affect health outcomes. • Describe the demand/control model of job stress. • Describe the hierarchy of public health strategies (information, incentives, regulations) to reduce health disparities. • Describe the process of developing policies to address health disparities, and the barriers to implementing such policies. 			

Outline

The course covers the theoretical underpinnings of each construct, their measurement, and empirical research linking each to population health status. Methods are introduced to operationalize each construct for the purposes of empirical application in epidemiologic research.

Class Schedule (90 minutes each)

1. Introduction to the social determinants of health (Tuesday, 13 Jan., 9:00-10:30 am)
2. The prevention paradox and the strategies of prevention (Tuesday, 13 Jan., 10:45-12:15 pm)
3. Socio-economic status, Measurement and causal evidence (Wednesday, 14 Jan., 9:00-10:45 am)
4. Income distribution and health (Wednesday, 14 Jan., 10:45-12:15 pm)
5. Social networks, social support, and health (Thursday, 15 Jan., 9:00-10:30 am)
6. Social capital, social cohesion, and health (Thursday, 15 Jan., 10:45-12:15 pm)
7. Psychosocial work environment and health (Friday, 16 Jan., 9:00-10:30 am)
8. Reducing health inequalities: a policy perspective (Friday, 16 Jan., 10:45-12:15 pm)

We may add seminars by Japanese teachers for each to assist students with difficulty in language/background knowledge

Text

Berkman LF & Kawachi I (2nd eds). Social Epidemiology. New York: Oxford University Press, 2014.

Related readings

Kawachi I. "Inochi no Kakusa wa Tomerareruka". Shogakukan 101 Shinsho, 2013 [in Japanese].

Achievement evaluation

2-hour written examination consisting of 4 short-essay questions (Friday, 16 Jan., afternoon)

Course Syllabus

Adjunct Professor: Marcello Pagano

Course	Biostatistics: A Short Course in Monitoring and Evaluation		
Credit	1	Method of Teaching	Lecture
Objective This course is an introduction to the common and innovative quantitative methods used for monitoring and evaluation (M&E) targeted at students who have had an introductory course in statistics.			
Outline By the end of the course, the students will be able to achieve the following. <ol style="list-style-type: none">1. Design an appropriate M&E system for the task at hand.2. Identify appropriate sources of data, including the limitations and necessary interpretations for each.3. Employ the most basic, common statistical tools used in program M&E.4. Integrate multiple methods for a comprehensive M&E system.5. Describe how to extend basic components to more complex M&E methods.			
Class Schedule (90 minutes each) 1. Introduction to Monitoring and Evaluation. (Tue., 13 Jan., 13:15-14:45) This first lecture introduces students to the basic concepts of Monitoring and Evaluation, including the role that M&E systems play in ongoing health program implementation and policy. 2. Framework for Evaluation/Indicators. (Tue., 13 Jan., 15:15-16:45) This lecture provides a brief overview on developing a framework for program monitoring and evaluation via logic models, determining the key activities and outcomes that require monitoring, and developing indicators. Indicators are core metrics of a M&E system, and imply a strict definition of what will be measured. This lecture will discuss how to develop and evaluate appropriate indicators, and the different types of indicators commonly used in M&E. 3. Measuring Populations. (Wed., 14 Jan., 13:15-14:45) Ideally, a census and/or a registry provide complete information on everyone in the population of interest. This lecture concentrates on the value of a census together with a registry of vital statistics in order to properly monitor a population. 4. Review of Statistical Models. (Wed., 14 Jan., 15:15-16:45) This lecture reviews basic statistical concepts, such as the Binomial Model and the Normal distribution and associated			

inference. Frequentist and Bayesian inference that form the foundation of the methods discussed in subsequent lectures are presented.

5. Surveys 1 (Thu., 15 Jan., 13:15-14:45) & 6. Surveys 2 (Thu., 15 Jan., 15:15-16:45)

Surveys are commonly used to collect data in M&E systems. The survey design impacts the precision and interpretation of results, but also has logistical implications as well. These lectures discuss the most basic sampling designs of surveys – simple random sampling, stratified sampling, and cluster sampling – and the implications of each. More complex study designs, such as multistage and EPI surveys, will also be discussed.

7. Methods for correcting common sources of error in M&E. (Fri., 16 Jan., 15:15-16:45)

Many of the inferences from the methods covered in this course are vulnerable to bias from missing data or poor data quality. This lecture highlight the most common sources of error in M&E systems, and discuss methods to improve or adjust for these errors.

8. Quality Control in Health Systems. (Fri., 16 Jan., 15:15-16:45)

Lot Quality Assurance Sampling is a commonly used tool to classify health catchment areas based on performance, which helps program managers determine most effective local use of resources. These lectures describe the basic mechanics of LQAS as well as tools to subsequently aggregate the data collected in catchment areas via stratified sampling or cluster sampling in order to obtain the usual statistics that allow health services to be monitored and evaluated.

We may add seminars by Japanese teachers for each to assist students with difficulty in language/background knowledge.

Text

Principles of Biostatistics, Marcello Pagano, Kimberlee Gauvreau, Duxbury Press 2000.

Related readings

Will be made available prior to the lecture.

Achievement evaluation

There will be a written final exam upon completion of the course.

Course Syllabus

Adjunct Professors: Martin Burton & Andrew Farmery

Course	Health Policy Management and Clinical Epidemiology		
Credit	2	Method of Teaching	Lecture/ workshop
<p>Objective</p> <ol style="list-style-type: none"> To develop personal skills in critical appraisal and data analysis To understand and the nature and technique of evidence synthesis using a formal process of systematic review To refresh knowledge of the basic statistical concepts required to appraise articles about therapy and diagnosis To understand the rationale for, and development of, guidelines To be able to appraise a clinical guideline To understand principles underlying health policy development and resource allocation To understand the organisation of the UK's National Health Service To develop awareness of the need for value in research 			
<p>Outline</p> <p>The course covers metaanalysis of clinical studies and development of guidelines.</p>			
<p>Class Schedule</p> <ol style="list-style-type: none"> Lecture & workshop: Introduction to the course: the Oxford University teaching style (Martin Burton & Andrew Farmery) (9.00-9.45 on Jan 22) Lecture: Systematic Reviews and the Cochrane Collaboration (Martin Burton) (9.45-10.30 on Jan 22) Lecture: Critical Appraisal Skills: How to appraise a paper about therapy - Theory (Martin Burton & Andrew Farmery) (10.45-11.30 on Jan 22) Workshop: Appraising a paper about therapy - Part 1 (Martin Burton & Andrew Farmery) (11.30-12.15 on Jan 22) Lecture: Critical Appraisal Skills: How to appraise a paper about therapy: Using the CASP checklist (Martin Burton & Andrew Farmery) (13.15-14.00 on Jan 22) Workshop: Appraising a paper about therapy - Part 2 (Martin Burton & Andrew Farmery) (14.00-14.45 on Jan 22) Lecture: Guidelines: what they are and how they are used (Andrew Farmery) (15.00-15.45 on Jan 22) Lecture: Questions of effectiveness (Martin Burton) (15.45-16.30 on Jan 22) 			

5. Lecture: Systematic reviews skills: How to develop a protocol for a systematic review (Martin Burton) (9.00-9.45 on Jan 23)
Workshop: Defining a clinical question (PICO) and converting into a protocol (Martin Burton & Andrew Farmery) (9.45-10.30 on Jan 23)
6. Lecture: Critical Appraisal Skills: How to appraise a paper about diagnosis - Theory (Andrew Farmery) (10.45-11.30 on Jan 23)
Workshop: Appraising a paper about diagnosis - Part 1 (Andrew Farmery) (11.30-12.15 on Jan 23)
7. Lecture: Critical Appraisal Skills: How to appraise a paper about diagnosis: Using the CASP checklist (Andrew Farmery) (13.15-14.00 on Jan 23)
Workshop: Appraising a paper about diagnosis - Part 2 (Andrew Farmery) (14.00-14.45 on Jan 23)
8. Lecture: Guidelines: how they are developed (Andrew Farmery) (15.00-15.45 on Jan 23)
Lecture: Making clinical research "high value research" (Martin Burton) (15.45-16.30 on Jan 23)
9. Lecture & workshop: Questions of effectiveness (Martin Burton) (9.00-9.45 on Jan 24)
Workshop: Critical Appraisal Skills: Appraising a diagnostic test accuracy paper (Martin Burton & Andrew Farmery) (9.45-10.30 on Jan 24)
10. Lecture & workshop: Systematic review skills: How to search the literature (Martin Burton) (10.45-11.30 on Jan 24)
Lecture & workshop: Systematic review skills: Assessing study eligibility (Martin Burton) (11.30-12.15 on Jan 24)
11. Lecture: Critical Appraisal Skills: Appraising a systematic review (Andrew Farmery) (13.15-14.00 on Jan 24)
Workshop: Appraising a systematic review (Martin Burton & Andrew Farmery) (14.00-14.45 on Jan 24)
12. Lecture: Guidelines: putting them into clinical practice (Andrew Farmery) (15.00-15.45 on Jan 24)
Lecture: How to appraise a guideline: the AGREE tool (Martin Burton) (15.45-16.30 on Jan 24)
13. Lecture: Variation in practice and "shared decision-making" (Martin Burton) (9.00-9.45 on Jan 25)
Lecture: Systematic review skills: Assessing and recording "risk of bias" (Martin Burton) (9.45-10.30 on Jan 25)
14. Workshop: Assessing and recording "risk of bias" using the "Cochrane Risk of Bias Tool" (Martin Burton & Andrew Farmery) (10.45-11.30 on Jan 25)
Workshop: Critical Appraisal Skills: Appraising a systematic review (Andrew Farmery) (11.30-12.15 on Jan 25)

15. Lecture: Meta-analysis (Martin Burton) (13.15-14.00 on Jan 25)

Lecture: Health policy and resources (Andrew Farmery) (14.00-14.45 on Jan 25)

16. Lecture: How the National Health Service is organised and run (Andrew Farmery) (15.00-15.45 on Jan 25)

Assessment: Course assessment (Martin Burton & Andrew Farmery) (15.45-16.30 on Jan 25)

We may add seminars by Japanese teachers for each to assist students with difficulty in language/background knowledge.

Text

Trisha Greenhalgh: How to Read a Paper: The Basics of Evidence-Based Medicine

Bjorn Andersen: Methodological Errors in Medical Research - an incomplete catalogue

Related readings

[A comprehensive list of papers will be provided]

Achievement evaluation

1. Tutor's grading of engagement with classroom activities
2. A short written assessment (in exam format - probably multiple choice style)
3. Submission of a short piece of work on the last day (we will set the task earlier in the course).